

〈ものづくりと教育機関〉

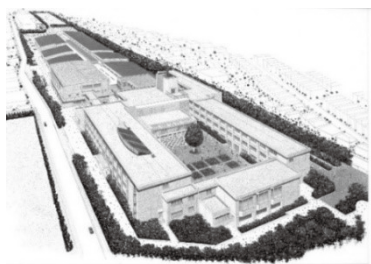
人づくり・ものづくりと「ものづくり情報ライブラリー」 県立川崎図書館に  
期待すること (県立東部総合職業技術校)

平野 康一

平成30年12月14日から、県立川崎図書館の「ものづくりギャラリー」コーナーにて、当校の展示が始まりました。エンジニアを育成するための各コースの概要や授業の成果物を中心に展示、紹介しております。併せて関連講演会も予定しております。本稿では、さらに詳しく当校の教育活動を紹介いたします。

東部総合職業技術校は、職業能力開発促進法に基づく、公共職業能力開発施設として、新規学校卒業者や離転職者等が就職するために必要な知識と技能を習得する求職者訓練を実施するとともに、在職者等を対象に、その技能に応じ、より高度な知識・技能を習得するための訓練（スキルアップセミナー）を実施しています。さらに、次世代のものづくりを担う若年者の育成とともに「ものづくり」の普及啓発を図るため、中学校・高校と連携してキャリア教育の支援を実施しています。

大規模・総合型の職業技術校として、鶴見駅から鶴見線で10分、安善駅から徒歩1分の立地に、平成20年4月、旧県立寛政高等学校の校舎や体育館を改修することとし、実習棟を新築整備し、開校しました。その後公募により「愛称」を「かなテクカレッジ東部」とし現在に至っています。



東部校鳥瞰図

求職者を対象として実施している訓練コースは、工業技術分野、建築技術分野、社会サービス分野の3分野にわたっています。

工業技術分野は、ものづくりを中心とし、「精密加工エンジニア」、「3次元CAD & モデリング」、「機械CAD」、「電気」、「溶接・板金」、「コンピュータ組込み開発」、「自動車整備」、「チャレンジプロダクト」、「セレクトプロダクト」の9コースがあります。

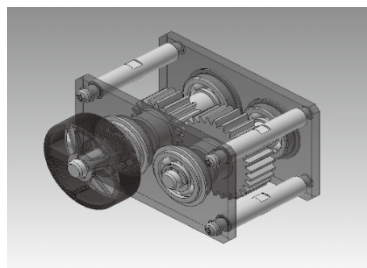
「精密加工エンジニア」コースはエンジンやタービンなどの精密機械部品を製造する機械切削加工を担う人材を1年間で育成するコースです。



「3次元CAD & モデリング」コースは工業製品の設計や製造用のデータを作成し、モデル化する機械CADエンジニアを1年間で育成するコースです。



「機械CAD」コースは工業製品の設計や製造用のデータを作成する機械CADエンジニアを6か月で育成するコースです。



「電気」コースは電気工事や工場等の制御装置を設計・製造する人材を電気工事士などの資格取得も含めて1年間で育成するコースです。



「溶接・板金」コースは、橋や船に利用される構造物を製造する人材をアーク溶接やガス溶接等の資格取得も含めて、6か月で育成するコースです。



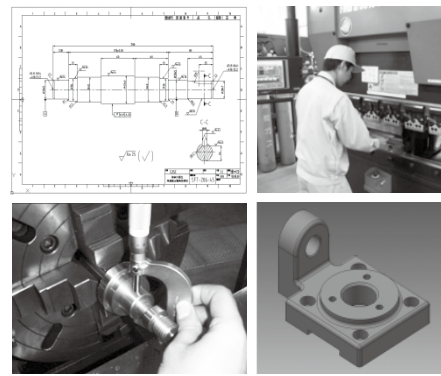
「コンピュータ組込み開発」コースは、家電や自動車に組み込まれているコントローラの開発やネットワークインフラを担う人材を2年で育成するコースです。



「自動車整備」コースは、コース修了後2級自動車整備士の受験資格が得られ実技試験が免除されるコースで、2級自動車整備士を目指す人材を2年で育成するコースです。



「チャレンジプロダクト」コースは、就業経験の少ない方が就業に結びつくよう、機械加工・溶接板金・電気・機械CADの4分野について体験訓練・本訓練・企業実習を組み合わせた1年のコースです。



「セレクトプロダクト」コースは、機械加工・溶接板金・電気・機械CADから2つの要素を組み合わせた内容を受講できる多能工人材を1年で育成するコースです。



建築技術分野は、「建築設計」、「住環境リノベーション」、「造園」、「庭園管理サービス」、「ビル設備管理」の5コースがあります。

「建築設計」コースは建築物の設計業務を担う2級建築士を目指すコースで、1年間の訓練の後、実務経験3年で受験可能となるカリキュラムのコースです。



「住環境リノベーション」コースは、住環境におけるリノベーション施工やその施工管理を担う人材を6か月で育成するコースです。



「造園」コースは樹木の剪定などを行う庭園管理や作庭までを担う人材を1年で育成するコースです。



「庭園管理サービス」コースは樹木の剪定などを行う庭園管理を担う人材を6か月で育成するコースです。



「ビル設備管理」コースはビルメンテナンスに必要な資格取得をしながら、商用施設や病院、マンションなどのビルメンテナンスを担う人材を6か月で育成するコースです。



社会サービス分野は、「ケアワーカー」、「給食調理」コースがあります。

「ケアワーカー」コースは介護職員実務者研修の課程に準じた訓練を実施しており、6か月で介護人材の育成をするコースです。



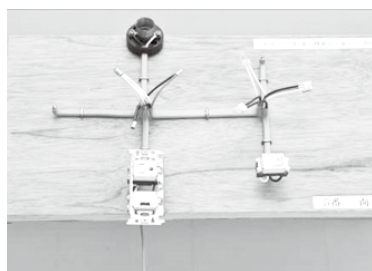
「給食調理」コースは介護施設や事業所の食堂などの調理スタッフを6か月で育成するコースです。



このような、コースにおいて実践的な実習を中心に技能・技術を身につけ、96.6%（平成29年度における修了3か月後の東部校・西部校合わせた就職率）の方に就職していただいています。就職については、当校の訓練に理解をいただいている企業の団体や、地元の企業からの求人をいただき、技術校生の状況に合わせた相談や求人の開拓を担うスタッフや指導員が、就職活動をサポートします。さらに、校内で就職説明会を実施したり、個別の説明会を実施するなど常に新しい求人情報を提供しています。



在職者を対象とした在職者訓練（セミナー）は年間2,500名程度の方が受講されており、求職者対象のコースで実施している分野の内容について、2日間を基本とした短期間のコース設定で、基本から応用までの内容について企業等に在職されている方に受講していただいています。



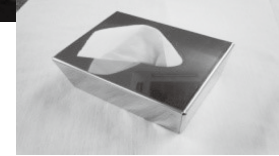
電気工事士技能試験対策講座  
（電気工事士技能試験の課題）



アーク溶接特別教育



キーホルダー



ティッシュケース

体験入校で製作できるもの

また、1級技能検定受験を目指すような経験のある方を対象とした高度な技能を身につける「ものづくり継承塾」も、6日程度で実施しています。



キャリア教育の支援事業では、中学校、高等学校を対象として、「ものづくり体験」や高度熟練技能者による実演などにより、「ものづくり」の普及啓発を推進しています。



職業技術校を周知するため、年間60回程度のオープンキャンパス（見学会）や体験入校を実施しております。

さらに、技能振興や地域貢献に向けたイベントの実施として、「一日技能教室」、「てくのかわさき技能フェスティバル」、「かながわしごと技能体験フェスタ」、「鶴見駅のイベント」、「トレジャーハンティング in つるみ」などにも協力、参加しております。



このように、東部総合職業技術校は求職者や在職者への職業訓練の提供と、将来の産業人材の育成を実施しており、県立川崎図書館とは展示や講演会などで連携をさせていただいております。

今後も、職業訓練のカリキュラムで必要となるものづくり分野の関連図書・資料の指導員や技術校生への貸し出しや情報提供を期待しております。また、川崎図書館を利用される将来のものづくりを担う人材へ展示やセミナーを通じて、技術・技能の理解や職業観の醸成等について、連携を図っていきたいと考えております。

---

ひらの・こういち

(神奈川県立東部総合職業技術校 かなテクカレッジ東部 校長)